

## 令和 4(2022)年度事業報告

自:令和 4 年 4 月 1 日

至:令和 5 年 3 月 31 日

令和 2 年度に、今後を見据えた「SIIA アクションプラン 2021」としてまとめ上げ、その結果を「宣言」として発表いたしました。 <https://www.sii.or.jp/>

「アクションプラン 2021」の実施 2 年目となった本年度は、その実行から検証のステージに向かうことになりました。しかし、昨年度に続き本年度もコロナ感染症の影響を受けて各種事業が予定の変更あるいは中止を余儀なくされ、また会場における対面開催事業のすべてがオンラインとの併催となった一年となりました。

そのような中であって、本年度に入ってから 3 社の ICT 会員と 1 名の個人会員の入会があり、早速それぞれの部会に参加され、事業の活性化にも好影響をもたらしました。

## 1. 各部会活動報告

## (1) 人材育成・教育研修部会

## アクションプラン部会宣言:

「市場や技術の動向を踏まえ、会員のために役立つ情報と学習機会を提供し続けます。」

- ① 昨今の時代を反映した女性の働き方について、「企業における女性の活躍」をテーマに講演会を開催した。

(参加 41 名)

講 師:静岡県立大学経営情報学部 国保祥子准教授

実施日:令和 4 年 5 月 21 日

会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催

- ② 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」実施

前編として、「デザインパターン入門編」を開講し、設計・プログラミングの実践的なスキルを習得するための静岡大学情報学部オリジナルカリキュラムを技術者向けに提供した。(参加 14 名)

講 師:塩見彰睦氏(静岡大学情報学部教授)

講 師:野口靖浩氏(同講師)

実施日:令和 4 年 8 月 4 日～6 日、9 月 1 日～3 日 (6 日間)

会 場:静岡大学 静岡キャンパス教室

- ③ 会員ニーズセミナー「リスキリング ～デジタル化の実効性を高める人材育成戦略～」実施 (参加 42 名)

講 師:一般財団法人静岡経済研究所 阪口瀬理奈特任研究員

実施日:令和 4 年 9 月 29 日

会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催

- ④ 「高校生向けプログラム講座」実施

昨年度も実施した、島田商業高校情報ビジネス科・情報処理部の生徒を対象に、SIIA 会員企業の講師による「Unity によるプログラム講座」を開催した。アンケートを実施した結果、「続きの講座」を求める回答が多くあったため、本年度 2 回目の講座も実施した。

講 師:中村学園静岡電子情報専門学校 中村健太郎講師及びスタッフ

実施日:令和 4 年 8 月 23 日及び令和 5 年 2 月 11 日

会 場:静岡県立島田商業高等学校

- ⑤ 会員向けハンズオンセミナー「AWS 基礎技術勉強会 シリーズ① ～座学で AWS の基礎を学ぶ～」(参加 31 名)  
 講師: アマゾンウェブサービスジャパン(株) ソリューションアーキテクト 山崎 博昭氏  
 実施日: 令和 5 年 2 月 24 日  
 会場: オンライン開催
- ⑥ 「～自然豊かな環境で、新しい情報産業協会をイメージする～“ワーケーション”」実施  
 新型コロナウイルス感染に伴い、海外から国内へと視察先を変えて昨年度から検討してきた。その結果、静岡県内でも実施できる「ワーケーション」を体験することを企画し、昨年度中に実施を試みたものの、コロナ感染の第6波の影響を受けて実施を見送ることとした。そこで、本年度改めて次年度からの本格開催を念頭において、その「試行」のために実施した。参加者からは好評を博すことができた。(参加 8 名)  
 実施日: 令和 5 年 3 月 13 日～14 日  
 会場: マウントフジ里山バケーション(運営 一般社団法人エコロジック=富士宮市 狩宿 8-2)
- ⑦ 会員ニーズセミナー「組織の DX 対応スキルセミナー(基礎編)～「ITが苦手な会社」から脱却するポイント～」実施 (参加 8 名)  
 講師: 米良直樹氏 (株式会社浜名湖国際頭脳センター IT 事業部次長)  
 実施日: 令和 5 年 3 月 23 日  
 会場: オンライン開催

(2) ビジネス・マッチング部会

**アクションプラン部会宣言:**

**「会員相互及び産・学・官との交流を活性化し、ビジネスの機会創出をめざします。」**

- ① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催する企画は、コロナ感染症の影響を受けて変則的な開催となったものの、予定した「年 5 回」開催のうち 4 回の開催を実現した。但し、「会員交流会」については、コロナ感染に配慮した結果、2 度のみの開催となった。
- 第 1 回: (株)共立アイコム 令和 4 年 4 月 19 日  
 会場: 静岡商工会議所 401 会議室及びオンライン開催  
 発表者: 飯田憲二氏(執行役員)他 2 名  
 参加者: 23 名(会場 18 名、オンライン 5 名)
- 第 2 回: (株)アドテクニカ 令和 4 年 7 月 26 日  
 会場: 静岡商工会議所 401 会議室及びオンライン開催  
 発表者: 佐藤直也氏(ソリューション営業本部主任)他 1 名  
 参加者: 31 名(会場 17 名、オンライン 14 名)
- 第 3 回: (株)オービックビジネスコンサルタント 令和 4 年 10 月 25 日  
 会場: 静岡商工会議所 401 会議室及びオンライン開催  
 発表者: 山本達也氏(静岡支店長)  
 参加者: 27 名(会場 20 名、オンライン 7 名)
- 第 4 回: (株)ユニックス 令和 5 年 2 月 22 日  
 会場: 静岡商工会議所 401 会議室及びオンライン開催  
 発表者: 振本剛裕氏(ReNU 事業部)  
 参加者: 24 名(会場 18 名、オンライン 6 名)

\*「会員交流会(親睦会)」は、令和4年10月25日(第3回会員交流セミナー)および令和5年3月28日(拡大運営委員会)開催後に同じ会場において、前段の会場出席者の参加により開催した。

② 「Kintone Café」開催

「今話題のローコード開発ツール サイボウズ Kintone を見て・聞いて・さわってみよう～あきらめないで！これから間に合うDX～ローコードを使ったDXとは～」のテーマで、「Kintone」で実際にアプリを制作することを主題とした交流会「Kintone Café」を開催した。ただ、度重なるコロナ感染症の影響を受けて1回の開催にとどまった。

講師:サイボウズ株式会社 営業本部リージョナル営業部 中部営業 G 吉原克志氏

実施日:令和4年7月5日

会場:コワーキングスペース =ODEN (静岡市葵区鷹匠2丁目8-10)

③ 「会員交流サイト」の構築

ビジネス・マッチングの機会を創出するための「会員交流会」の開催と併せ、会員企業の「イチ推し」情報などを掲載し、会員交流に資する情報提供を目的とした「会員交流サイト」の企画及び実際のウェブサイト基盤の構築を行った。

管理:(株)ウェブサクセス(SIA 会員)

実施日:令和4年4月1日～令和5年3月31日(随時対応)

方法:①リニューアルされた SIA ウェブサイト「会員情報」欄に、各社が適宜自社情報をアップロードできる仕組みを用意した。②「会員情報」をアップロードするマニュアルを作成し、全会員に配布した。③令和4年2月22日「会員情報アップロード・ハンズオン解説」をオンラインで行った。(担当:ウェブサクセス金指様=人材開拓推進部会)

④ 小規模事業者向け DX・業務改善に関するお困りごと相談会

当初予定していた担当副部会長が、途中で就職先を退職し、同時に部会からも脱退されたため本事業は遂行できなかった。

(3) 人材開拓推進部会

**アクションプラン部会宣言**

**「産・学・官の連携を深め、学生へICTの魅力を訴求し、次の担い手の発掘をめざします。」**

① 「大学就職ガイダンス」開催

多くの企業では、情報処理技術者試験の受験を推奨している実情を学生に認識してもらうため、IPA から講師を招聘して静岡大学静岡キャンパスで開催した。

講師:IT人材育成センター国家資格・試験部 笠井優一氏

実施日:令和4年6月30日

参加者:27名(会場13名、オンライン14名)

会場:静岡大学静岡キャンパス共通教育棟及びオンライン

② 「常葉大学就職ガイダンス」開催

「文系学生のための社会人になる前に知っておきたい IT・ICT 業界の話」

(1)講演:「キャリアに必要な大切なもの」

講師:野木秀子氏(KHA コンサルティング(株)代表取締役)

(2)「常葉大 OG・OB による座談会」(同大 OB&OG3名と野木アドバイザー)

実施日:令和4年10月12日

参加者:110名(学生88名、教職員22名)

会場:常葉大学 草薙キャンパス

③ 大学生向け「静岡IT企業研究」講座開催

実施日:令和5年2月17日

参加者:1. 参加企業 4社 (株)エル・ティー・エス、(株)建設システム、(株)静岡情報処理センター、(株)東京コンピュータサービス(株)  
2. 参加学生数 6名  
会場: オンライン開催

- ④ 文科系大学生向け「ITパスポート取得講座」実施  
講師: 静岡産業技術専門学校教員(3名)  
実施日: 令和4年12月5日～令和5年2月20日(計8回開催)  
参加者: 1.オンライン受講 13名、2.オンデマンド(動画視聴)受講 28名(申込数)

#### (4) 事業総括

本年度も、コロナ感染症の影響で、年度当初の定時総会を始め、殆どの会合、講習あるいはセミナーが対面形式に加えてオンラインで併催する「ハイブリッド開催」となった。

ハイブリッド開催の経験も2年目となり、その功罪も見えて来た。「功」については、参加率が向上したことがあげられる。その反面、オンラインによる会合では、その前後に生じる「アイドルタイム」がなくなるため、本来であれば参加者同士の間で生じる様々なコミュニケーションが失われ、また今後に向けた活動のための種々のアイデア出しの機会も得られなくなるという問題も見えて来た。

三部会の活動も、一部を除き計画通りに実施・開催ができたが、コロナ感染症の影響があったことは否めず、事業内容の変更や延期などを余儀なくされた場面もあった。

本年度、「アクションプラン 2021」の実施 2年目を迎えて「P・D・C・A」の「D」の段階に入ったが、本年度はその実践を通じて次の「C」(Check=検証)に向けた議論も始まった。

現在の協会事業は、内部では成果が出ていても、それが協会の外に向けた発信力に欠けることで、協会の認知度が上がっていないという問題点の指摘を受けている。

そのような中で、喜ばしいことに新たに3社のICT会員が入会された。これは、協会の存在とその事業が認知されたものであり、事業活動を通じて益々内外に協会認知度を高めて行くことが課題となった。

年度末が近づいてコロナ感染症の鎮静化も見え始めた中で、課題を次年度に申し送ることになった。

#### (5) 会議交流事業

会議及び事業企画打合せ(企画)開催実績

通常総会、理事会、運営委員会、事業部会を年間事業計画に従って開催した。

##### ① 総会

5月27日…通常総会

##### ② 理事会、交流会

4月19日 理事会・第1回交流会

5月17日 理事会

6月21日 //

7月26日 理事会:第2回交流会

9月27日 理事会

10月25日 理事会・第3回交流会

11月29日 //

12月20日 //

1月24日 //

2月21日 理事会・第4回交流会

3月28日 拡大理事会・「年度納めの交流会」

- ③ 運営委員会及び事業部会  
 4月19日 事業部会・運営委員会  
 5月17日 事業部会・運営委員会  
 6月21日 //  
 7月26日 //  
 8月23日 //  
 9月27日 //  
 10月25日 //  
 11月29日 //  
 12月20日 //  
 〈令和5年〉  
 1月24日 //  
 2月21日 //  
 3月28日 拡大理事(運営委員)会

(6) 地域連携事業

- ① JISA (情報サービス産業協会)の会員として活動し、地域高度化事業助成に静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」の「デザインパターン入門編」及び「テスト設計とテスト駆動開発入門編」で応募して採択された。
- ② 他組織の企画を協会員に対して情報提供や事業協力を努めた。  
 ・SIIA ウェブサイトから随時催行情報などを会員ならびに地域などに向けて発信し、SIIA の周知を図った。  
 ・県および市ならびに静岡商工会議所の関連事業(地域企業デジタル化推進特別委員会＝理事長が理事就任、事務局長が会議所情報文化部会)に参加・協力した。  
 ・国、県、市など行政に関する情報を SIIA 会員に適時メール配信した。  
 ・情報サービス産業協会(JISA)はじめ県内外の情報関連団体の情報受発信に務め、必要な情報を適時 SIIA 会員にメール配信した。  
 ・県、市に関わる諸団体事業への協力(しずおか男女共同参画推進会議、ふじのくに i-Construction 推進支援協議会、IT 推進コンソーシアム、しずおか DX コンソーシアム、富士山静岡空港利用促進協議会、静岡市公衆無線 LAN 事業協議会等)  
 ・大学生向け就職情報サイトを SIIA ホームページ上にリンクを張り、情報会員企業情報の提供を行った。

(7) 広報事業

- ① HP プロバイダー管理  
 ② HP 運用管理・コンテンツ保守

2. 会員数:令和4(2022)年3月末現在  
 66 会員

<会員種別内訳>

ICT 会 員: 32(うち中途入会 2)  
 一 般 会 員: 19  
 個 人 会 員: 1  
 会費免除会員:14